

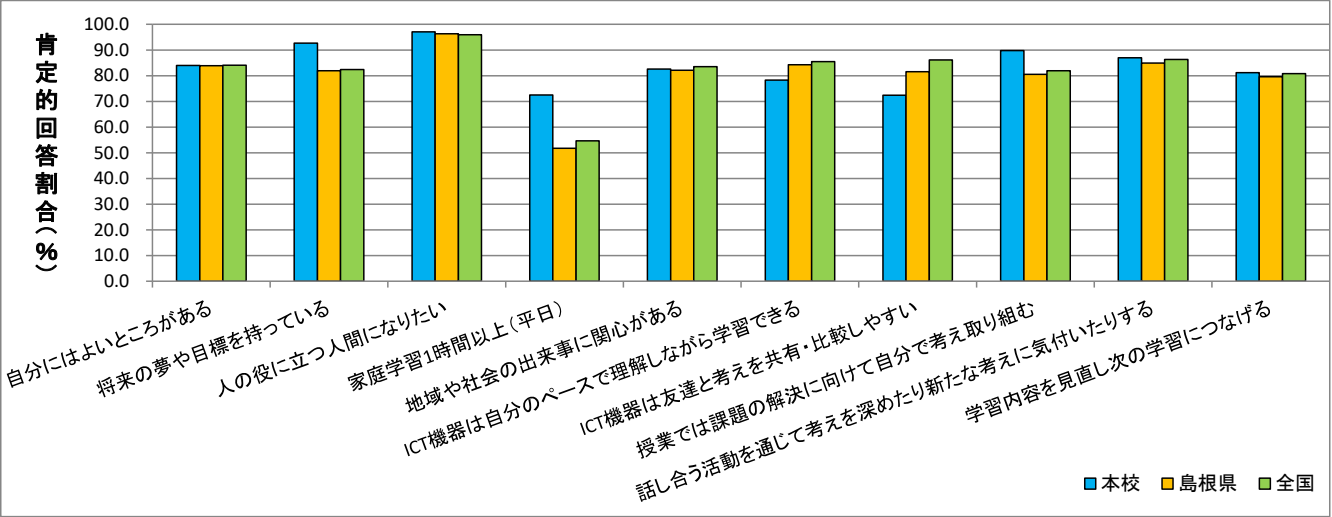
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	● 漢字を正しく使う力が十分ではない。 ● 指定されたいくつかの条件を取り入れながら、自分の考えを書く力が十分でない。ただし、無解答は全国平均より低くなっている。 ○ スピーチ活動や対話により考えを深めていく授業を通して、自分の考えが伝わるように表現を工夫したり、目的や意図に応じて伝え合う内容を検討したりする力が育っている。 ○ 課題としていた複数の叙述を結び付けて、総合的に判断する力が育ってきている。	・ 定期的に取り組んでいる漢字会を引き続き行っていく。語彙力を高めていくための出題の方法を工夫していく。 ・ 図書館活用教育と連携しながら、複数の条件の設定の中で文章を書いたり要約したりする経験を重ねていく。 ・ 引き続き、スピーチ活動や対話の授業を大切にすることで、伝える力や聞く力(要点をまとめながら聞く、比較しながら聞くなど)を身に付けていく。
算数	○ 目的に応じて数量の関係に着目して式に表したり、計算に関して成り立つ性質を活用したりする力は育ってきている。 ● 一方で、未知の数量を表す記号□などを用いる場面になると、立式できなくなる。 ● 図形の性質について知識として理解しているものの、それらを用いて課題を解決するための深い理解にはなっていない。 ○ 目的に応じて必要なデータを収集し、表やグラフ、式を用いて統計的に問題を解決する力が育ってきている。	・ 未知の数量を表す記号(□など)を用いて、問題場面通りに数量の関係を表すことを低学年から積み重ねていく。 ・ 図形の性質を見出すときに、図形を構成する要素などに着目したり、筋道を立てて説明したりできるようにしていく。

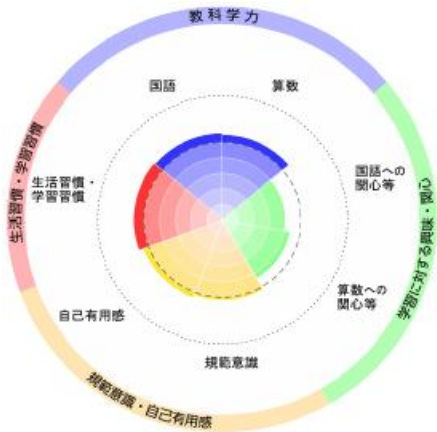
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○ 自分の夢や目標を持っている児童が多い。 ○ 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組み、互いの考えを出し合おうとする意識が高まっている。 ● それぞれの学習が大切だという意識はあるものの、意欲が低い。	・ 引き続き課題の解決に向けて、対話の授業を大切にしながら、自分で考え取り組んでいると実感できるようにしていく。 ・ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりできる経験を積み重ねていく。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・それぞれの学年の積み重ねを大切にしながら、全職員で重点的に指導すべき内容について共通理解して取り組んでいく。
・全学年、年間計画に学校図書館との連携を位置づけ、活用しながら学習を進めていく。

【受検者数】
67 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。